

内閣総理大臣杯争奪 第52回西日本実業柔道団体対抗大会
対戦成績

勝敗の表示について

便宜上、勝敗の表示は以下の記号といたしています。

一本勝
技あり 指導3
有効 指導2
判定

女子の部

第1回戦

仁康会小泉病院

(先鋒) 宮前 瀬里香 2段
(中堅) 藤本 愛海 初段
(大将) 野瀬 美幸 2段

0 京都医健専門学校

送襟絞 堤 あおい 初段
引分 高橋 利予 2段
横四方固 寺田 彩香 初段

関西医療学園

(先鋒) 土肥 早恵 初段
(中堅) 辻本 葉子 2段
(大将) 仲井 樹里 2段
(代表)

JR九州

縦四方固 野関 晴菜 2段
引分 山崎 裕子 2段
引分 只野 真梨枝 3段

道草道場

(先鋒) 奥原 若菜 2段
(中堅) 山本 美華 2段
(大将) 河井 美樹 初段

0 錦秀会 阪和病院

引分 木原 絵里 2段
不戦勝 安永 美琴 3段
優勢勝 能津 佳奈 2段

関西健康科学専門学校 代

(先鋒) 松浦 由佳 3段
(中堅) 上村 有希 2段
(大将) 深川 宏子 段外
(代表) 上村 有希 2段

1 長崎光仁会病院

引分 林 千夏 2段
上四方固 末永 眞子 2段
横四方固 柿森 香菜 2段
大外刈 柿森 香菜 2段

第2回戦

日本エースサポート

(先鋒) 澤田 友里 3段
(中堅) 相馬 菜穂 2段
(大将) 石川 笑美子 3段

日本生命

1

(先鋒) 湧川 のな 3段
(中堅) 上野 まゆみ 3段
(大将) 磯崎 未佳 2段
(代表) 磯崎 未佳 2段

十全会回生病院

(先鋒) 笹原 夏奈 3段
(中堅) 江藤 聖佳 3段
(大将) 佐伯 友美 3段

樽谷塾

(先鋒) 坂巻 知春 3段
(中堅) 近藤 麻美 3段
(大将) 奥谷 晴加 3段

0 仁康会小泉病院

崩袈裟固 宮前 瀬里香 2段
横四方固 藤本 愛海 初段
小内刈 野瀬 美幸 2段

代 JR九州

大外刈 野関 晴菜 2段
小外掛 山崎 裕子 2段
引分 只野 真梨枝 3段
指導2 只野 真梨枝 3段

0 道草道場

上四方固 奥原 若菜 2段
引分 山本 美華 2段
払腰 河井 美樹 初段

0 関西健康科学専門学校

崩袈裟固 松浦 由佳 3段
上四方固 上村 有希 2段
払腰 深川 宏子 段外

準決勝戦第1試合

日本エースサポート 0

JR九州

(先鋒)	澤田 友里	3段	縦四方固	野関 晴菜	2段
(中堅)	相馬 菜穂	2段	掬投	山崎 裕子	2段
(大将)	石川 笑美子	3段	引分	只野 真梨枝	3段

準決勝戦第2試合

関西健康科学専門学校 1

樽谷塾

(先鋒)	松浦 由佳	3段	引分	坂巻 知春	3段
(中堅)	上村 有希	2段	合せ技	近藤 麻美	3段
(大将)	深川 宏子	段外	(指導2)	奥谷 晴加	3段

決勝戦

JR九州

0 樽谷塾

(先鋒)	野関 晴菜	2段	(指導2)	坂巻 知春	3段
(中堅)	山崎 裕子	2段	引分	近藤 麻美	3段
(大将)	只野 真梨枝	3段	払腰	奥谷 晴加	3段

決勝戦は、今年創部のJR九州対創部二年目の樽谷塾、新進気鋭同士の対戦となった。

先鋒戦。

左組み同士。体格で上回るJR九州の野関が長身を生かし、左奥襟を持って圧力を掛け、強引な内股を連発する。対する樽谷塾の坂巻はこれをよくしのぐ。しかし守勢一方の坂巻に59秒に指導1。中盤は坂巻も右背負投で応戦。終盤になって、野関の上からの圧力に思わず防御の姿勢を続けた坂巻に3分51秒、遂に指導2が与えられて時間。JR九州幸先よく1点先取。

中堅戦。

体格に優る樽谷塾の近藤は、JR九州、山崎の左前襟を掴んだ左組みから左支釣込足で大きく左に振って山崎を転がし、1分25秒有効を奪う。リードを許した山崎は一転攻勢に転じ、これに応じて片襟姿勢を続けた近藤は1分57秒、指導1を受ける。終盤以降は、山崎が左組手十分な体勢で試合を支配し始め、守勢に回った近藤に谷口主審が3分13秒指導2を与える。山崎は序盤の失点を挽回、両者引分ける。

大将戦。

共に左組み。JR九州只野は、がっちりと樽谷塾の奥谷を組み止めて前に圧力を掛ける。27秒に場外付近で仕掛けた強烈な左体落は、奥谷が辛うじて体を捻ってかわして、惜しくもポイントを奪えず。しかし、その後も只野は奥谷を十分に組み止め、1分3秒、遂に体落気味の体捌きから、奥谷の斜め後ろに足を伸ばし、そのまま前に大外刈の様に落とせば、奥谷の背中が左前方に回って畳に打ち据えられる。新鋭、只野見事な一本勝で、創部一年目の優勝に花を添える。